

2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）



2024年10月31日

上場会社名 株式会社牧野フライス製作所 上場取引所 東
コード番号 6135 URL <https://www.makino.co.jp/>
代表者（役職名）取締役社長（氏名）宮崎 正太郎
問合せ先責任者（役職名）専務取締役管理本部長（氏名）永野 敏之（TEL）046-284-1439
半期報告書提出予定日 2024年11月13日 配当支払開始予定日 2024年12月3日
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有（証券アナリスト・機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	108,237	△0.3	7,576	△2.6	7,583	△22.1	5,782	△24.7
2024年3月期中間期	108,515	5.3	7,776	43.9	9,730	39.9	7,675	43.7

(注) 包括利益 2025年3月期中間期 △308百万円（—%） 2024年3月期中間期 14,393百万円（16.0%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	244.87	—
2024年3月期中間期	321.38	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	359,265	217,361	60.4
2024年3月期	362,335	221,553	61.0

(参考) 自己資本 2025年3月期中間期 217,007百万円 2024年3月期 221,167百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	70.00	—	80.00	150.00
2025年3月期	—	80.00	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	100.00	180.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	225,000	△0.2	17,000	3.8	17,700	△6.4	14,500	△9.3	619.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) — 、除外 一社(社名) —
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期中間期	24,893,841株	2024年3月期	24,893,841株
② 期末自己株式数	2025年3月期中間期	1,505,029株	2024年3月期	1,176,243株
③ 期中平均株式数(中間期)	2025年3月期中間期	23,613,883株	2024年3月期中間期	23,883,899株

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	10
3. その他	12
受注及び販売の状況	12

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間における業績は、売上高1,082億37百万円(前年同期比0.3%減)、営業利益75億76百万円(前年同期比2.6%減)、経常利益75億83百万円(前年同期比22.1%減)、純利益57億82百万円(前年同期比24.7%減)となりました。

上期の連結受注は1,086億65百万円(前年同期比0.2%増)となりました。前年同期比では横ばいとなりましたが、中国の新エネルギー車や北米での航空機向けの受注は引き続き堅調な結果となりました。日本国内及び、アセアンでの半導体製造装置向けの受注は回復傾向にあります。第3四半期以降も受注は底堅く推移し、下期の連結受注は上期を上回る計画となっております。

第2四半期(2024年7月～9月)における報告セグメント別の受注状況(現地通貨ベース)は以下のとおりです。

(当社報告セグメントはグループの販売体制をもとに構成しています。詳細については10ページを参照ください)

セグメントⅠ(「個別」および国内連結子会社)

牧野フライス製作所の国内受注は、前年同期を上回りました。半導体製造装置向けの受注が回復傾向にあり、金型向けでは自動車関連が増加しました。

セグメントⅡ(MAKINO ASIA PTE LTD)

アジアの受注は前年同期を上回りました。

中国は新エネルギー車関連を中心とした部品加工向けが堅調に推移し、前年同期を上回りました。

インドはエンジニアリングを含む自動車関連や航空機関連を中心に、前年同期を上回りました。

アセアンは半導体製造装置向け及び電子部品向けの金型を中心に前年同期を上回りました。

セグメントⅢ(MAKINO INC.)

アメリカの受注は前年同期を下回りました。

アメリカでは政策金利の引き下げなどにより、ジョブショップ向けの引き合いが徐々に回復しています。航空機向けではエンジン部品から機体構造部品まで幅広く設備投資の引き合いをいただき、受注は底堅く推移しました。

9月にシカゴで開催された国際製造技術展 IMTS2024では新製品の発表を行い、お客様から好評をいただきました。

セグメントⅣ(MAKINO Europe GmbH)

ヨーロッパの受注は、前年同期を上回りました。南欧地域で航空機向け及び部品加工向けが増加しました。

当社は「製品を造る、また製品がお客様に使われるすべての過程で、常に環境への影響を配慮し、社会との信頼関係を築きます」という環境方針を定め、さまざまな取組みを進めております。2023年度CDPのスコアはB-を獲得しました。

また、気候変動問題への対応の一つとして、Scope 1, 2のCO2排出量削減については、2030年度の目標を2022年度比42%削減とし、太陽光発電設備の導入や照明のLED化、高効率空調設備への転換などの活動を進めています。Scope 3についても、2030年度の目標を2022年度比25%削減に設定し、環境に配慮した製品・技術の開発や、生産の効率化などの取組みを進めています。

2024年11月5日(火)～10日(日)の6日間、東京ビッグサイトにて日本国際工作機械見本市 JIMTOF2024が開催されます。

当社は新製品を含む工作機械8台と自動化装置及びソフトウェアを展示し、効率化、省人化に向けたさまざまな提案を行い、お客様のお困りごとの解決をサポートすることに努めていきます。

(2) 当中間期の財政状態の概況

当中間連結会計期間末における総資産は、現金及び預金74億92百万円の増加、売上債権27億69百万円の減少、建設仮勘定27億36百万円の増加、投資有価証券26億48百万円の減少、有価証券20億円の減少並びに棚卸資産11億72百万円の減少などにより、前連結会計年度末に比べ30億70百万円減少し、3,592億65百万円となりました。

負債につきましては、仕入債務40億45百万円の減少、短期借入金62億50百万円の増加並びに繰延税金負債8億42百万円の減少などにより、前連結会計年度末に比べ11億21百万円増加し、1,419億4百万円となりました。

また、純資産につきましては、為替換算調整勘定42億50百万円の減少、利益剰余金38億84百万円の増加、自己株式19億72百万円の増加並びにその他有価証券評価差額金18億11百万円の減少などにより、前連結会計年度末に比べ41億91百万円減少し、2,173億61百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年4月30日に公表した業績予想を修正しました。具体的内容は本日(2024年10月31日)公表した「第2四半期(中間期)業績予想の差異および通期業績予想の修正に関するお知らせ」を参照ください。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	69,565	77,058
受取手形、売掛金及び契約資産	47,842	45,073
有価証券	3,236	1,235
商品及び製品	34,618	35,156
仕掛品	18,859	20,625
原材料及び貯蔵品	48,069	44,593
その他	11,144	8,482
貸倒引当金	△1,760	△1,736
流動資産合計	231,576	230,488
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	40,037	39,134
機械装置及び運搬具(純額)	11,665	11,043
工具、器具及び備品(純額)	5,539	5,169
土地	20,230	20,144
リース資産(純額)	6,770	7,459
建設仮勘定	2,226	4,962
有形固定資産合計	86,470	87,914
無形固定資産		
その他	3,150	3,368
無形固定資産合計	3,150	3,368
投資その他の資産		
投資有価証券	28,156	25,507
長期貸付金	542	526
繰延税金資産	5,647	5,747
退職給付に係る資産	2,333	2,279
その他	4,552	3,525
貸倒引当金	△94	△94
投資その他の資産合計	41,138	37,493
固定資産合計	130,759	128,776
資産合計	362,335	359,265

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,345	15,815
電子記録債務	15,263	13,748
短期借入金	2,277	8,527
1年内償還予定の社債	-	5,000
1年内返済予定の長期借入金	5,816	17,297
リース債務	1,219	1,084
未払法人税等	2,522	2,501
その他	36,681	37,037
流動負債合計	82,124	101,011
固定負債		
社債	20,000	15,000
長期借入金	24,500	13,000
リース債務	3,533	3,549
繰延税金負債	7,494	6,651
役員退職慰労引当金	148	155
退職給付に係る負債	697	685
その他	2,284	1,851
固定負債合計	58,657	40,892
負債合計	140,782	141,904
純資産の部		
株主資本		
資本金	21,142	21,142
資本剰余金	37,092	37,116
利益剰余金	127,113	130,998
自己株式	△5,199	△7,171
株主資本合計	180,149	182,085
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	16,034	14,222
為替換算調整勘定	23,100	18,849
退職給付に係る調整累計額	1,883	1,849
その他の包括利益累計額合計	41,018	34,922
非支配株主持分	385	353
純資産合計	221,553	217,361
負債純資産合計	362,335	359,265

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	108,515	108,237
売上原価	75,775	73,903
売上総利益	32,740	34,334
販売費及び一般管理費	24,963	26,758
営業利益	7,776	7,576
営業外収益		
受取利息及び配当金	660	499
為替差益	966	-
助成金収入	83	74
その他	447	516
営業外収益合計	2,158	1,090
営業外費用		
支払利息	161	236
為替差損	-	822
その他	42	23
営業外費用合計	203	1,082
経常利益	9,730	7,583
特別利益		
固定資産売却益	160	217
投資有価証券売却益	-	327
特別利益合計	160	545
特別損失		
固定資産除却損	6	33
特別損失合計	6	33
税金等調整前中間純利益	9,884	8,094
法人税等	2,200	2,306
中間純利益	7,683	5,788
非支配株主に帰属する中間純利益	7	5
親会社株主に帰属する中間純利益	7,675	5,782

中間連結包括利益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益	7,683	5,788
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,140	△1,812
為替換算調整勘定	8,061	△4,250
退職給付に係る調整額	△210	△34
その他の包括利益合計	6,709	△6,097
中間包括利益	14,393	△308
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	14,384	△313
非支配株主に係る中間包括利益	8	4

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	9,884	8,094
減価償却費	3,934	4,082
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△72	56
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	10	6
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△46	△110
受取利息及び受取配当金	△660	△499
支払利息	161	236
為替差損益(△は益)	△24	18
投資有価証券売却損益(△は益)	-	△327
固定資産売却損益(△は益)	△160	△217
固定資産除却損	6	33
売上債権の増減額(△は増加)	8,055	1,276
棚卸資産の増減額(△は増加)	△1,721	△1,039
仕入債務の増減額(△は減少)	△8,430	△1,972
その他	△2,958	4,594
小計	7,979	14,233
利息及び配当金の受取額	657	493
利息の支払額	△158	△238
法人税等の支払額	△2,173	△2,598
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,304	11,889
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額(△は増加)	766	△400
有形固定資産の取得による支出	△4,506	△6,518
有形固定資産の売却による収入	364	589
投資有価証券の取得による支出	△4	△2,001
投資有価証券の売却による収入	-	370
その他	△552	367
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,932	△7,592
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	-	6,643
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△515	△638
長期借入れによる収入	4,000	-
長期借入金の返済による支出	△5,000	-
自己株式の取得による支出	△2	△2,003
子会社の自己株式の取得による支出	△100	△25
配当金の支払額	△1,907	△1,896
非支配株主への配当金の支払額	△6	△4
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,531	2,074
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,754	△2,279
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	595	4,092
現金及び現金同等物の期首残高	69,467	72,578
現金及び現金同等物の中間期末残高	70,062	76,670

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当中間連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による中間連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当中間連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前中間連結会計期間及び前連結会計年度については遡及適用後の中間連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前中間連結会計期間の中間連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループの主な事業は工作機械の製造販売であります。製造は日本、アジアで行っており、販売は海外の重要拠点に子会社を展開して、グローバルな販売活動を行っております。従いまして、当社グループは下記Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳの販売体制を基礎とした各社の所在地別のセグメントから構成されております。

報告セグメントⅠ. は牧野フライス製作所が担当するセグメントであり、主たる地域は日本、韓国、中国、大洋州、ロシア、ノルウェイ、イギリス及びセグメントⅡ、Ⅲ、Ⅳに含まれないすべての地域です。さらに、国内関係子会社を含んでおります。

報告セグメントⅡ. はMAKINO ASIA PTE LTD(シンガポール)が担当するセグメントであり、主たる地域は中国、ASEAN諸国、インドです。

報告セグメントⅢ. は、MAKINO INC. (アメリカ)が担当しているセグメントで、南北アメリカのすべての国です。

報告セグメントⅣ. は、MAKINO Europe GmbH(ドイツ)が担当するセグメントであり、ヨーロッパ大陸(ノルウェイを除く)のすべての国です。

Ⅰ 前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				
	Ⅰ (百万円)	Ⅱ (百万円)	Ⅲ (百万円)	Ⅳ (百万円)	計 (百万円)
売上高					
1. 外部顧客に対する 売上高	25,726	42,902	30,726	9,160	108,515
2. セグメント間の内部 売上高又は振替高	40,598	5,766	349	0	46,714
計	66,324	48,668	31,075	9,160	155,229
セグメント利益 又は損失(△)	4,041	2,346	1,482	△354	7,515

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額(百万円)
報告セグメント計	7,515
未実現利益の消去他	261
中間連結損益計算書の営業利益	7,776

II 当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				
	I (百万円)	II (百万円)	III (百万円)	IV (百万円)	計 (百万円)
売上高					
1. 外部顧客に対する 売上高	19,850	43,769	35,750	8,867	108,237
2. セグメント間の内部 売上高又は振替高	38,217	4,319	312	2	42,851
計	58,067	48,088	36,063	8,870	151,089
セグメント利益 又は損失(△)	5,380	1,689	1,487	△363	8,192

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

利益	金額(百万円)
報告セグメント計	8,192
未実現利益の消去他	△616
中間連結損益計算書の営業利益	7,576

3. その他

受注及び販売の状況

1. 受注の状況

受注高

(百万円未満切捨て)

セグメントの名称	当中間連結会計期間 自 2024年4月1日 至 2024年9月30日		前年同期比
	金額	比率 (%)	比率 (%)
I	23,062	21.2	△1.5
II	45,952	42.3	+6.5
III	31,229	28.7	△6.8
IV	8,420	7.8	+0.9
合計	108,665	100.0	+0.2

受注残高

(百万円未満切捨て)

セグメントの名称	当中間連結会計期間末 2024年9月30日		前年同期比
	金額	比率 (%)	比率 (%)
I	25,846	26.4	△1.8
II	31,808	32.4	△10.2
III	32,215	32.8	△5.6
IV	8,259	8.4	△39.9
合計	98,129	100.0	△10.4

2. 販売の状況

販売実績

(百万円未満切捨て)

セグメントの名称	当中間連結会計期間 自 2024年4月1日 至 2024年9月30日		前年同期比
	金額	比率 (%)	比率 (%)
I	19,850	18.4	△22.8
II	43,769	40.4	+2.0
III	35,750	33.0	+16.4
IV	8,867	8.2	△3.2
合計	108,237	100.0	△0.3